

ア、講 義

- 特殊教育に必要な精神医学的基礎知識  
宮城教育大学教授 佐藤 愛
- 特殊教育教育課程編成上の諸問題  
東京教育大学附属養護学校教頭  
秋山 一 乗
- 特殊教育上の諸問題  
義務教育課主幹 渋谷 靖十郎
- 特殊教育の現状と問題点  
義務教育課指導主事 大堀 敬之

イ、研究協議

- 学習指導上の諸問題について
- 学級経営上の諸問題について

(3) 昭和48年度特殊教育課程福島県研究集会

① 趣 旨

小学校および中学校の精神薄弱特殊学級における教育課程に関する指導上の問題点について、部会別に研究協議し、その解明を図り、もって教職員の指導力の向上と学習指導の改善に資する。

② 主 催 文 部 省

福島県教育委員会

郡山市教育委員会

③ 期 日 昭和48年8月8日～8月9日 2日間

④ 会 場 郡山市立芳山小学校

⑤ 講 師 相馬市立養護学校長 中丸良彦

⑥ 参 加 者 112名

⑦ 内 容

ア、課 題

児童・生徒の精神発育の遅滞の状況を的確には握し、能力を可能な限り伸長させるためには、どのように教育課程を編成したらよいか。

イ、研究発表ならびに研究討議

ウ、講師による指導

(4) 昭和48年度心身障害児判別・就学指導講習会

① 趣 旨

昭和48年度心身障害児判別・就学指導研究協議会の内容を伝達し、特殊教育に関する諸問題について研究協議するとともに、判別・就学指導に必要な実技を研修することをとおして、県内における心身障害児判別・就学指導の問題点を解明する。

② 主 催 文 部 省 福島県教育委員会

③ 期日および会場

県北	西庁舎研修室	昭和48年12月6日
県南	郡山合同庁舎	同年 12月11日
会津	若松合同庁舎	同年 12月10日
浜	双葉町体育館	同年 12月12日

④ 講 師 義務教育課担当管理主事

同 指導主事

関係教育事務所担当指導主事(4名)

実技担当講師(8名)

⑤ 参 加 者 県北会場 97名

県南会場 138名

会津会場 113名

⑥ 内 容

ア、講 義

- 障害の判別と判別基準
- 特殊教育対象の就学について

イ、研究発表ならびに研究協議

- 判別に必要な資料をどのように定め、どのように収集したらよいか。

ウ、実技研修

- 判別・就学指導に必要な諸検査法
  - ・ WISC知能検査
  - ・ 田中ビネー式知能検査
  - ・ SM社会生活検査

エ、その他

- 福島県心身障害児判別・就学指導会議に対する判別依頼と適正就学指導の実際について

3. 内地留学・長期研修派遣

(1) 東京学芸大学へ

1年間 精神薄弱教育  
常葉町立関本小学校 教諭 鈴木 隆

(2) 宮城教育大学へ

1年間 病弱・虚弱教育  
いわき市立植田小学校 助教諭 岡部 泰

(3) 福島大学へ

1年間 言語障害教育  
福島市立福島第四小学校 教諭 三瓶 正子

(4) 東京教育大学へ

6か月 難聴教育  
福島市立福島第二中学校 教諭 根本 ツヤ子  
郡山市立橘小学校 教諭 渡辺 捷司  
同 講師 増子 光世  
いわき市立平第二小学校 教諭 宗像 清次  
同 講師 矢部 有一

6か月 弱視教育  
会津若松市謹教小学校立 教諭 山本 福子

(5) 東北大学へ

6か月 難聴教育  
福島市立福島第二中学校 講師 尾股 洋子

(6) 国立特殊教育総合研究所へ

1年間 重複障害教育  
喜多方市立喜多方養護学校 教諭 坂内 正利

3か月 弱視教育  
会津若松市立謹教小学校 講師 安田 俊子

3か月 言語障害教育  
原町市立原町第一小学校 教諭 小川 兼太郎

1か月 精神薄弱教育  
田島町立田島小学校 教諭 湯浅 英治  
白河市立中央中学校 教課 加藤 博道

4. 特殊教育推進地区

(1) いわき市

(2) 研究内容